

2050年脱炭素・カーボンニュートラルに向けて－新たな時代の市民の役割

欧州（英国・フランス）の気候市民会議からの学び

甲斐沼 美紀子

（地球環境戦略研究機関（IGES） 研究顧問）

2022年1月26日（水）

フランス気候市民会議

フランスでの2030年までの温室効果ガス削減対策を国民の側から提言する会議。



150名の参加者

ミッション：社会正義の精神で、1990年比で2030年までに温室効果ガスを40%以上削減するための具体的な政策提言をすること。

会合：2019年10月から2020年6月まで計7回。経済社会環境評議会が運営。

参加者：無作為抽出で選ばれた150名。16歳から80歳まで。2名のホームレスも選出。

政策提言の扱い：政府及び大統領に公開で提出。マクロン大統領はフィルターにかけることなく、国民投票、議会採決もしくは行政命令とすることを約束。



会議の様子

政策提言：憲法・制度改革、移動、消費、住、生産・労働、食（生態系保全を含む）に関して149の政策を提言。マクロン大統領は下記の3つを除いた146の提言を検討することを約束。（）内は却下理由：

1. 高速道路の最高速度を110km/hに下げる。（地域、特に最も孤立した地域に不利益をもたらしてはならない）
2. 配当への4%課税。（投資に水をさすリスクがある）
3. 憲法前文に、環境を共和国が保護する他の価値より優位におくこと。（環境保護を、自由と民主主義の基本に優先させることはできない）

英国気候市民会議

英国のネットゼロ実現のための気候変動対策を国民の側から提言する会議。



ミッション：2050年までに英国でネットゼロを実現するための政策について提言すること。

会合：2020年1月から5月で計6週末。3回の対面週末セッションと3回の短いオンライン週末セッション。

参加者：無作為抽出で選ばれた108名。気候変動に対する考え方も層化基準に有り。

政策提言の扱い：下院のビジネス・インテリジェンス・産業戦略委員会に提出。

政策提言：50 を超える提言。例：

1. 低排出バス及び電車への政府による投資。
2. より小規模の組織がエネルギーサービスを提供できるような支援。
3. 2030年もしくは2035年以降、新規のガスボイラーの販売禁止。
4. 食料及び飲料製品のラベリングを実施し、様々な食品による排出量を示す。
5. 洋上風力、陸上風力、太陽光を英国のネットゼロへの道筋の中心に据える。
6. 大手エネルギー会社と政府の関係の一層の透明化。
7. 市民会議や独立専門家を入れた、ネットゼロへの進捗をモニタリングし保証する独立中立機関。



Climate Assembly UK members on Zoom

会議の様子

<https://www.parliament.uk/business/news/2020/september/climate-assembly-uk-new/>

詳しくは環境政策対話研究所のホームページ参照
<http://inst-dep.com/>

英国とフランスの市民会議の比較

	フランス気候市民会議	英国気候市民会議
設立の背景	黄色いベスト運動。国民大討論会に示された「グリーン・トランジション」と政策への市民参画への強い要望にマクロン大統領が呼応。CESE（経済社会環境評議会）主催。	2019年英国議会在が気候危機宣言。気候変動委員会に対策強化要請。イクスタクシヨン・レバリオンが市民会議創設を要望。ビジネス・インテリゲン・産業戦略委員会等下院超党派6特別委員会主催。
使命	社会的公正を守りつつ、GHG排出を2030年までに40%減を達成するための政策提言。	2050年までにネットゼロを達成するための手段・政策を下院6特別委員会に提言。
参加市民	150（無作為州出。6つの基準）。（性別、年齢、職業、学歴、地域、居住地特性（都市部、中小市町村など））	108（無作為抽出。7つの基準）。（年齢、性別、学歴、民族、居住地、都市部/農村部、気候変動に対する考え方）
予算	540万ユーロ（約7億円）。	52万ポンド（約7800万円）
開催日程	2019年10月から2020年6月まで計7週末。4月にCovid-19後の回復政策についてのオンライン特例セッション。2021年2月の追加の第8セッション。	2020年1月から5月で計6週末。3回の対面週末セッションと3回の短いオンライン週末セッション。
討議対象	消費、移動、住、食、働く/生産の5つのグループ。テーマ別グループの提案を全体で承認。	移動、家庭の中、購買・土地利用・食料・農業の3グループ。グループ別に投票。電力供給、CO2除去技術、新型コロナウイルスと気候変動は全体で討議。

英国とフランスの市民会議の比較（続き）

	フランス気候市民会議	英国気候市民会議
提案の決め方	専門家のサポートはあるが、基本的に市民からの政策提言。会議のプロセスや手提案についてより多くの権限あり。	予め用意された質問票に投票が討議進行の基本。市民からの新たな提案も受付。極めて系統だった進行管理。
提言	150 提言案について全員による投票を実施し149 提言を選択。460頁の報告書：列車で4時間（法では2時間半）以内で移動が可能な短距離区間での航空路線の運航の禁止、GHG 多排出車両は市中心部への乗り入れを禁止、製品・サービス消費でのCO2排出量の表示制度「CO2スコア」の導入などを提言。	50以上の提案と556頁の報告書：低排出バス及び電車への政府による投資、より小規模の組織がエネルギーサービスを提供できるような支援、食料及び飲料製品の排出量ラベリングの実施、大手エネルギー会社と政府の関係の一層の透明化、定期的フォローアップなどを提言。
報告書の扱い	市民からの提言をベースとした気候レジリエンス法が2021年7月20日成立し、8月22日に発効	ビジ叔・I社ター・産業戦略委員会は市民会議の報告書を受けて政府の対応を調査し、2021年7月に報告書を作成。
気候市民会議の波及	国内や海外の気候市民会議に影響。グルノーブル、オクシタニー（地域圏）、ポワティエ、ナントなどで開催	国内や海外の気候市民会議に影響。英国では、スコットランドや多くの地方自治体で気候市民会議を開催。

まとめ

1. フランス、英国ともデモがきっかけの一つ
2. 国民の声を直接政策に反映させる手段
3. フランスは今何をすべきかを議論。英国は2050年ネットゼロに向けて何をすべきかを議論
4. フランスでは気候・レジリアンス法の制定。英国は定期的にフォローアップ
5. 議題は国民の生活に関連したものであるが、社会改革を必要とする政策への提言

課題

1. 熟議を行うには100人規模。100人規模でどこまで国民の声を反映できるか。ミニパブリックといっても興味のある人しか参加しないのでは。

→

無作為抽出で参加者が選ばれている。選ばれた人の多くは、市民会議の始めは温暖化に関する知識は限られていたが、会議の始めに専門家による説明があり、会議中でも随時意見交換を行うことにより温暖化への理解を深めた。熟議は一般的に100人規模で行われるが、幅広い母集団の中から選ばれた参加者の議論は重要。

2. 熟議で意見が誘導されないか。情報の提供、専門家やファシリティの役割。

→

専門家は情報の提供だけに専念。市民が自由に討議できる場を提供。

3. マクロン大統領は「政府は、フィルターにかけることなく、国民投票、議会採決もしくは行政命令とすることを約束する。」としたが、結果としてフィルターがかかった。

→

すべての提案は受け入れられなかったが、気候市民会議による提案をベースにした法案が「気候・レジリエンス法」として制定された。

4. 国民からの提案をどこまで実施できるか。財源の確保、社会的公正の実現、産業界への対応など。

→

フランスでは法として実施。社会的公正は今後実現しなければならない目標。

ご清聴ありがとうございました

「本調査の一部は環境省令和3年度国際脱炭素化社会研究調査等委託業務にて実施しています。」